

都立専門高校改編基本構想検討委員会報告書（概要）

**都立高校改革推進計画第一次実施計画**  
平成24年2月

<専門高校の学科改編等>

専門高校の在り方について検討組織を設置し、企業や生徒等のニーズに応じた学科の改編や新たな学科の設置などについて、規模の見直しも含めて検討を進める。

**専門高校のニーズ調査**  
平成25年10月～平成26年3月

専門高校の改善にあたって、在校生・保護者・中学生・卒業生・教員・企業・進学先など、延べ11,389の調査対象からアンケート調査

**【調査内容】**  
在校生：専門高校への入学理由、卒業後の希望進路など  
企業：高校生採用状況、専門高校生に期待する能力など  
高校：求人や、指定校推薦等の進学の状況など

**都立専門高校改編基本構想検討委員会**  
平成25年12月～平成26年7月

委員会は、農業、工業、商業、産業、福祉、家庭などの専門学科における

(1)都における専門高校の在り方に関すること  
(2)都立専門高校の改編に係る基本的事項に関することについて検討

学識経験者を含む20名で構成

**1 都立専門高校の現状**

(1) 都立専門高校の生徒に関する現状

ア 中学生の進路希望（別添資料図1参照）

- 工業科、商業科、ビジネスコミュニケーション科は例年1倍前後の志望倍率

イ 在校生が入学する際の高校選択理由（別添資料図2参照）

- 工業の化学系や電気系、商業系の学科
- ▶ 「特にどの高校に入学したいということはない」や、「別の高校の別の学科に入学したかった」との回答が比較的高い

ウ 中途退学率（別添資料図3参照）

- 長期的には減少傾向だが、平成24年度は3.2%（参考：普通科0.9%）
- 中途退学の理由の上位三つは、「学業不振」「学校生活・学業不適応」「進路変更」

エ 就職の状況（別添資料表1参照）

- 卒業生に占める就職者の割合：工業科は50%、商業科は42%
- ▶ 一定数の就職者を産業界の担い手として輩出

オ 進学状況（別添資料表2参照）

カ 学習する専門性と進路との関係（別添資料表3参照）

- 就職：約7割の卒業生が専門性を生かした進路
- 進学：商業では、専門性を生かした分野に必ずしも進学していない傾向

(2) 産業界及び都民が求める人材（別添資料図4参照）

ア 産業界が求める人材

「周囲との協調性」「健康・体力」「専門的な知識やスキル」「資格や免許」「ものづくりなど、その専門に関わる内容が好き」「基礎学力」「コミュニケーション能力」「やる気や根気」「道徳性や規律性」など

イ 本検討委員会で出された主な意見

「報告等に必要な文書作成能力」、「向上心」、「ヒューマンスキル」など

ウ 都民等が専門高校に期待すること

「資格」「専門技術、専門分野の学習」「実習」「基礎的・基本的な学力」

(3) 上級学校等が求める資質

- 評価・期待している点「目的意識の明確さ」「学習内容に関連の深い専門性の高さ」
- 「評価している点、期待している点は特になし」（33%）も同程度

**2 都立専門高校の課題**

<課題1> 志望倍率などに現れる魅力の不足

<課題2> 普通科と比較して高い中途退学率

<課題3> 専門性を活かして進路選択する生徒の割合の低迷

<課題4> 産業界や進学先での活躍に必要な能力の育成の不足

**3 都立専門高校全体の改善の方向性**

課題はそれぞれ関連性があり、解決に当たっては、中学生やその保護者、就職先及び進学先のニーズを踏まえ、専門高校の魅力をもより一層高めていく必要がある。

このため、産業界等の協力を得て、生徒の基礎学力の定着と専門性等を向上させるための取組を充実することが重要であるとともに、ニーズを踏まえた既存学科の規模の変更などの検討も必要である。

(1) 職業教育による専門性の向上 <「2 課題」1、2、3、4に対応>

ア 各専門高校での取組による専門性の向上

- ①実習中心の専門性の基礎の学習
- ②技能スタンダードによる技術・技能の習得
- ③資格取得に向けた補習・補講の充実
- ④教員の専門的指導力の向上

イ 産業界との更なる連携による専門性の向上

- ①産業界の人材による講演や指導の充実
- ②ジョブシャドウイングやインターンシップの拡充
- ③施設・設備の充実による実践的な学習の導入

ウ 上級学校との連携による専門性の向上

- ①高大連携の推進
- ②職業能力開発センターとの連携の推進
- ③上級学校の人材の活用
- ④専門学校等との連携の推進

(2) 基礎学力の定着 <「2 課題」1、2、4に対応>

- ①学力スタンダードによる取組の充実
- ②習熟度別授業など、きめ細かな指導の拡充
- ③学習状況に応じた補習・補講の実施
- ④体系的な学び直しの実施
- ⑤就職試験への対応に関する指導の徹底

(3) ヒューマンスキル、社会人基礎力等の伸長 <「2 課題」1、2、4に対応>

- ①普通科目での学習を含めた基礎的能力の向上
- ②産業界の外部講師の活用
- ③ジョブシャドウイング等によるスキルの伸長
- ④店舗などでの実践的な学習の充実

(4) 専門高校の役割を果たしていくための改編 <「2 課題」1、2、3に対応>

希望して入学する生徒数や卒業時の進路先などを総合的に判断して、既存の学科編成や課程等に捉われずに、専門高校の改編についても検討

都や日本の産業の発展に向けて、専門高校が役割を果たしていくことが重要

## 4 都立専門高校における各学科の改善の方向性

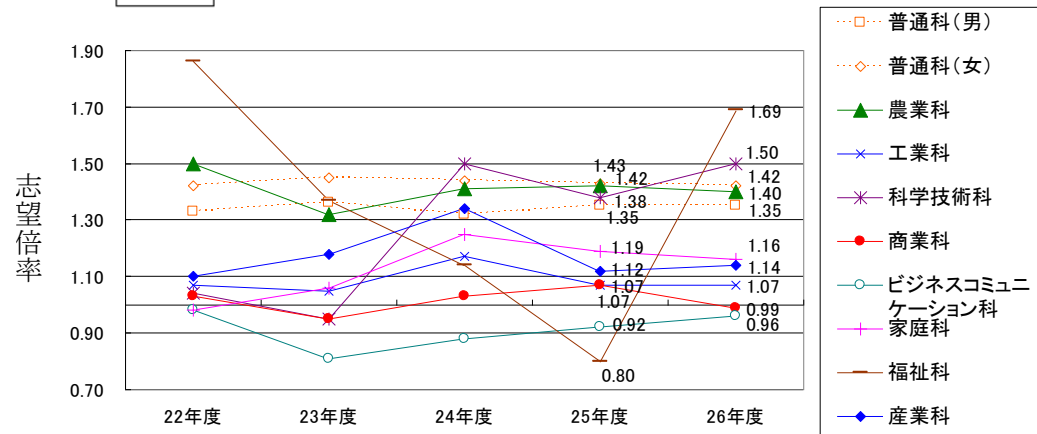
＜改善の方向性＞			＜検討を推進する具体策等＞	
農 業	(1) 各種資格や、食品関連産業などの農業関連分野を含めた専門性の向上 (2) 生産・加工・販売を一体的に行う農業の六次産業化を見据えた食品加工や経営に関する学習		① アグリカルチャージュニアマイスター制度の導入（資格取得の推進による専門性の向上） ② 農業分野でのインターンシップや産業現場における実習の充実 ③ 商店街と連携した課題研究等の実践 ④ 生産・加工・販売を一体的に行う農業の六次産業化を視野に入れた実践的経営学習の導入	
工 業	(1) 製品開発など、ものづくり産業界で活躍できる人材の育成 (2) 分かりやすい学科名称等の検討や、倍率の高い学科の再編や増設の検討		① 産業界との連携によるデュアルシステムの改善 ② 熟練の技術や伝統工芸などものづくり産業を引き継ぐ志をもつ人材育成の推進 ③ 製品開発など産業界と連携した課題研究等の実践 ④ 学校選択を容易にする学科の名称や配置などの学科の再編 ⑤ 産業界、中学生やその保護者などのニーズを踏まえた学科の増設	
商 業	(1) 実践的な商業教育の展開 (2) 学習した専門知識・技能の実社会での活用 (3) 適切な規模と配置に向けた改編		① 大学や産業界の外部人材の積極的な活用 ② ジョブシャドウイングやインターンシップの拡充 ③ 商店街と連携した課題研究等の実践 ④ 授業などにおける模擬株式会社の導入等の地域との連携の充実 ⑤ 店舗を併設するなどの実践的経営学習の導入 ⑥ 希望して入学する生徒数や卒業時の進路選択を踏まえた学科改編	
家 庭 福 祉	(1) 家庭や福祉分野での人材育成の充実 (2) 倍率の高い学科の増設の検討		① 保育・調理・介護などの専門性を広く学ぶ家庭科の設置 ② 志望倍率の高い食物科などの設置 ③ 福祉を広く学ぶ福祉系学科の設置 ④ 保育・調理などにおける実践的な学習の拡充	
産 業	(1) 社会に貢献する産業人の育成 (2) 中途退学率など各校の個別の課題への対応		① 地域産業や商店街を含む地域の産業界などと連携した学習の充実 ② ものづくりと経営を総合的に考えられる人材の育成 ③ 中途退学率の高い学校における中途退学者の減少	
新学科	(1) 都の更なる発展に寄与する視点から、新たな学科の必要性の検討		① 都として新たに設置すべき学科	

### 専門高校改編に関する今後のスケジュール

平成 26 年度			平成 27 年度		平成 28 年度以降
8 月	9 月	下半期	上半期	下半期	
基本構想公表（本日）	計画検討開始				順次計画実施

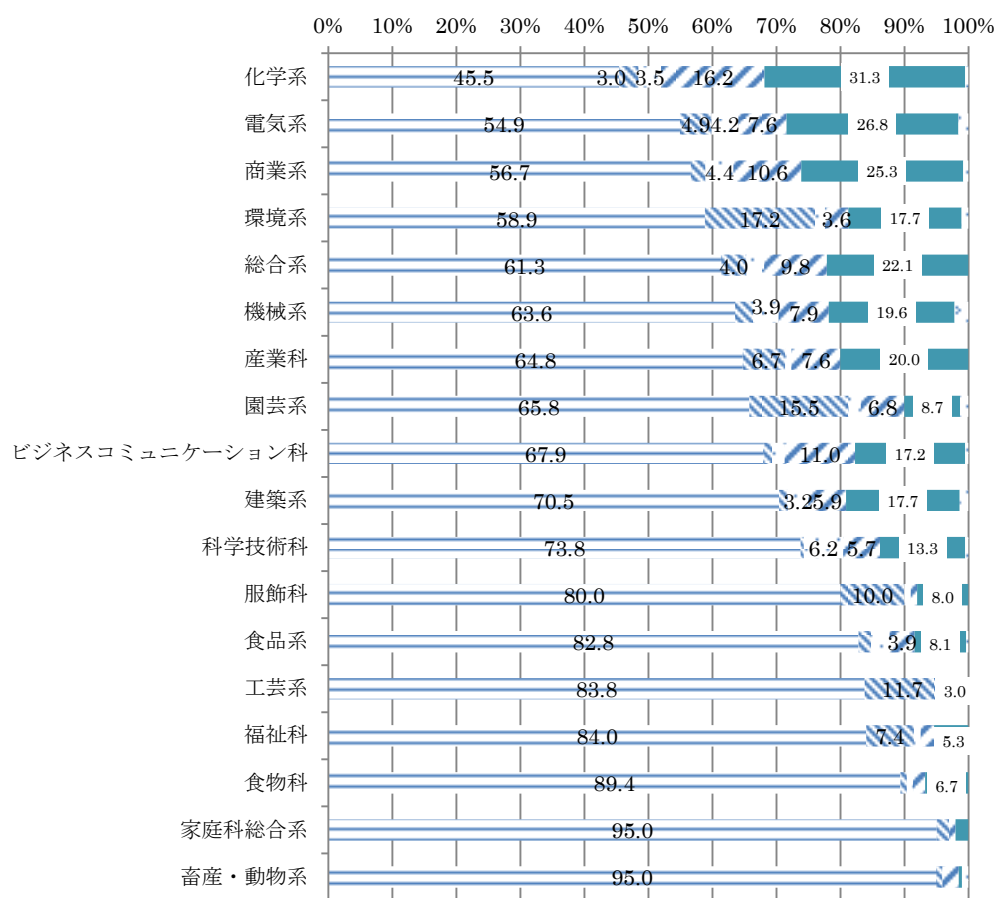


図1 中学3年生の学科別志望状況の推移



出典) 「都立高校全日制等志望予定(第1志望)調査結果」より

図2 入学を希望していた高校・学科であるか

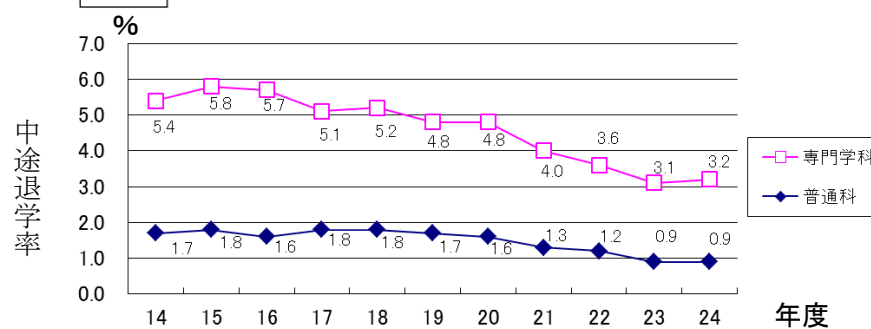


- ぜび、この高校のこの学科に入学したかった
- この高校の別学科に入学したかった
- 別の高校の同じような学科に入学したかった
- 別の高校の別学科に入学したかった
- 特にどの高校に入学したいということとはなかった
- 無回答

注: 調査対象は全日制課程専門学科の在校生、サンプル数 4,686 名

出典) 平成 25 年度「都立専門高校のニーズ調査報告書」より

図3 都立高校(全日制)における中途退学率の推移



出典) 文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

表1 卒業者数に占める就職者の割合

学科	卒業者数	就職者数	就職者の割合
普通	31,133 人	1,554 人	5%
総合	2,083 人	78 人	4%
農業	617 人	196 人	32%
工業	2,772 人	1,397 人	50%
商業	2,068 人	866 人	42%
家庭	204 人	39 人	19%
福祉	32 人	18 人	56%
その他	936 人	73 人	8%
合計	39,845 人	4,221 人	11%

出典) 平成 25 年度(24 年度卒)「公立学校統計調査」より

表2 卒業者数に占める進学者の割合

学科	卒業者数	進学者数	進学者の割合
普通	31,133 人	27,458 人	88%
総合	2,083 人	1,779 人	85%
農業	617 人	373 人	60%
工業	2,772 人	1,178 人	42%
商業	2,068 人	1,043 人	50%
家庭	204 人	142 人	70%
福祉	32 人	14 人	44%
その他	936 人	775 人	83%
合計	39,845 人	32,762 人	82%

出典) 平成 25 年度(24 年度卒)「公立学校統計調査」より

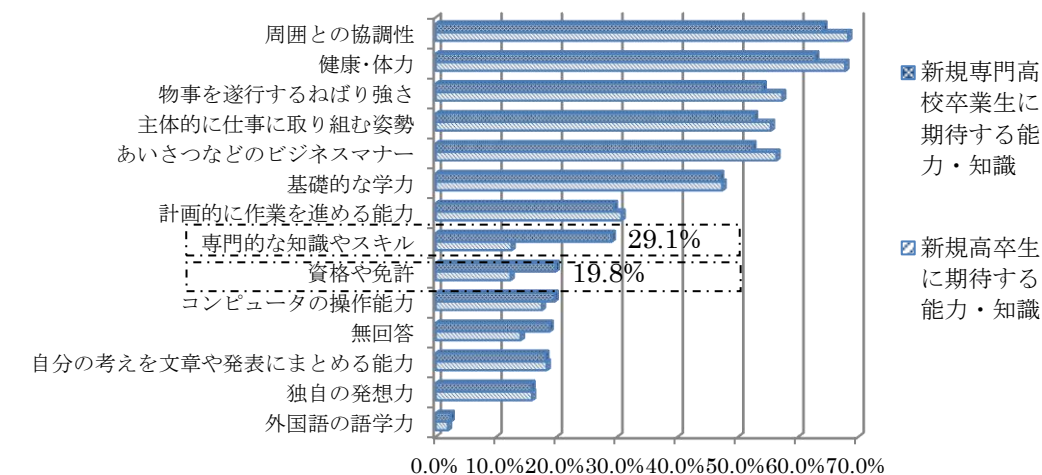
表3 学習した専門性を生かした進路選択の状況(不明を除く)

就職(平成 24 年度)			進学(平成 24 年度)		
学科等	専門性を生かした進路	それ以外の進路	学科等	専門性を生かした進路	それ以外の進路
農業	約 70%	約 30%	農業	約 60%	約 40%
工業	科学技術科	—	工業	科学技術科	約 90%
	科学技術科以外	約 70%		科学技術科以外	約 30%
商業	ビジネスコミュニケーション科	—	商業	ビジネスコミュニケーション科	約 60%
	ビジネスコミュニケーション科以外	約 70%		ビジネスコミュニケーション科以外	約 40%
産業	約 90%	約 10%	産業	約 70%	約 30%
家庭	約 80%	約 20%	家庭	約 80%	約 20%
福祉	約 90%	約 10%	福祉	約 50%	約 50%
合計	約 70%	約 30%	合計	約 60%	約 40%

※ 進学型専門高校である科学技術科とビジネスコミュニケーション科からの就職者は少数のため割愛

出典) 平成 25 年度「都立専門高校のニーズ調査報告書」より

図4 高卒人材の採用を考えている企業が高卒人材に期待する能力・知識について



出典) 平成 25 年度「都立専門高校のニーズ調査報告書」より

調査対象 : 高卒(専門高校卒)採用予定企業  
サンプル数: 高卒 1,237 社 専門高校卒 1,100 社